

【施設状況】

グループ名称	飯網高原観光施設(飯網高原交流拠点施設、飯網高原キャンプ場、小天狗の森フィールドアスレチック、大座法師池ボート場、飯網高原観光駐車場2)									
指定管理者名	eternal story株式会社						法人番号	2100001030827		
所管課	主	150800	観光振興課		副					
構成施設	21206	飯網高原観光拠点施設								
	5455	飯網高原キャンプ場								
	5455	小天狗の森フィールドアスレチック								
	2144	大座法師池ボート場								
		飯網高原観光駐車場2								
施設分類	04	レクリエーション型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	飯網高原交流拠点施設(令和4年開設)・飯網高原キャンプ場(昭和31年開設)・飯網高原小天狗の森(昭和53年開設)・飯網高原ボート場(昭和41年開設)・飯網高原観光駐車場1、2									
施設設置目的	市民、観光客の文化活動及びレクリエーション活動等の増進に資するため、飯網高原観光施設(飯網高原交流拠点施設、フィールドアスレチック、キャンプ場、ボート場、駐車場)を設置する。									
基本方針等	指定管理者は、飯網高原観光施設を有効に活用することで、「日帰り型高原リゾートサービスの提供」「通年観光ゾーンの形成」を図る。また、地域の宿泊施設などと連携し、「長期滞在型高原リゾートサービスの提供」を行い、きめ細やかなサービスを提供することで飯網高原ファンを増やし、飯網高原にお越しいただいたお客様の満足度を高めるよう努めるものとする。									
主な実施事業	飯網高原交流拠点施設(森の駅Daizahoushi:レストラン・マルシェ・屋内アクティビティ)、飯網高原小天狗の森(遊具29ポイント)、飯網高原キャンプ場(ログキャビン等)、飯網高原ボート場(普通ボート等)									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	eternal story株式会社				当該指定管理者の 指定回数	1 回
指定期間	令和3年4月1日	～	令和13年3月31日	10年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和3年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					3

2 施設の有効活用

No. 28

		利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		森の駅利用者数	人	128,188	117,691	119,809	115,276	96%	
		キャンプ場利用者数	人	11,875	10,147	10,687	9,044	85%	
		小天狗の森利用者数	人	7,804	6,611	18,935	19,558	103%	
		ポート場利用者数	人	2,277	3,700	3,552	2,592	73%	
(特記事項) ・全体的な落ち込みは新規イベント等の実施が少なく、また、従来イベントの開催日数縮小及び天候不良が大きく影響していると思われる。 ・「小天狗の森」の利用者増加は、宿泊や有料レジャーへの支出を抑えながらも、自然や屋外活動での楽しみを求める需要増加が要因と考えられる。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・飯綱高原交流拠点施設、飯綱高原キャンプ場、大座法師池ポート場の運営業務 ・各施設の維持管理業務 ・利用受付等に関する業務 ・利用料金の収受に関する業務			アトレ吉祥寺、東京駅構内、池袋サンシャインシティ、東武百貨店 船橋店などの外部に出て、芋井地区をはじめとした長野市産農産物の販売、オリジナル商品の販売、施設のPRを実施				
	自主事業	・フォレストアドベンチャーの運営 ・イベント(YAMASAI、サッカー体験会) ・水上アクティビティ ・キャンプ場利用者へのキャンプ用品レンタル、薪販売 ・オプション料理の販売 ・イベントへの出店 ・フォレストマーケット、水上BAR開催 ・E-Bike、スノーシューレンタル ・クリスマスイルミネーション、クリスマスディナー、収穫体験(ブラックベリー)の実施			・湖畔デッキ常設テントプラン、こたつキャンプ、ピクニックプラン利用者のオプション備品等のレンタル・販売 ・星空ツアー、森のこしかけフェスティバル、TAKIBI LOUNGE調整つかず未実施 ・雪遊び体験(スノーチューブ、ソリレンタル)実施 ・クリスマスミニコンサート実施 ・芽育雪板PARK利用者なし				
	サービス維持・向上の取組み (広報等)	・Instagram及びFacebookによる配信した ・公共施設ガイドブックへの掲載による広報や、市政番組への出演した ・じゃらんや、長野こまちななどの情報誌へ施設情報を掲載した ・メディアへのプレスリリース発信し積極的にPRを実施した							

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	インターネット等		3
	(2) 調査、会議等の内容 ・グーグルマップ、予約サイトの口コミ ・利用者様への聞き込み ・施設内に設置したアンケート収集 計 198件			
	(3) 調査、会議等の結果 【各部署評価:5段階】 評価 5:大変良い 4:良い 3:普通 2:少し不満 1:不満 ・施設設備:評価5(58.4%)、評価4(31.0%)、評価3(10.6%) ・マルシェ:評価5(62.6%)、評価4(37.4%) ・カフェレストラン:評価5(32.8%)、評価4(45.2%)、評価3(22.0%) ・キャンプ:評価5(45.3%)、評価4(28.2%)、評価3(18.3%)、評価2(6.0%)、評価1(2.2%) ・屋内アクティビティ:評価5(22.4%)、評価4(54.0%)、評価3(23.6%)			
利用者評価	利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・とてもおしゃれて落ち着いて、ごはんも美味しいカフェが、この湖のほりにあるなんて、ほんとに贅沢で。そんなに頻繁には来られませんが、子どもも遊べるし、近かったら毎日でもきたいくらいです。 ・ステキなロケーションで食事の盛り付けも洗練されてて、とてもよかったです ・駐輪場からのエリアの植栽もナチュラルに育ってきて、カフェもいつもきれいで居心地がいいです。野菜やジャム、パンなど地元のものもいつも楽しみにしています。今日はブラックベリーのジャムを購入しました。 ・今の雰囲気がとても自然に馴染んでいてステキです。このままの姿が続くといいなあと思っています。 ・マルシェでは旬の野菜が様々並んでいて見ごたえがあった ・テイクアウトできるメニューがあるので、外での遊びも快適に過ごせた ・長野県にこんな素敵な場所があると思いませんでした。お手洗いや快適で席も清潔でお食事もお美味しくして最高でした。特に、調理スタッフの方に笑顔で対応いただき嬉しかったです。 ・パイもコーヒーもおいしく、ゆっくり過ごせました。ひざ掛けもあって暖かく過ごせました。今日は雪景色を堪能しました。 ・長野市からのアクセスも良いので、戸隠などと合わせてドライブや観光の際に立ち寄りたい ・湖畔の景色がすごく良く、今度はキャンプにきたい ・居心地よく過ごせました。青木湖の某施設が自宅から近いのですが、こちらの方がゆったりした気分で過ごせます ・トイレがおしゃれで綺麗 ・とてもおしゃれて、綺麗で、自然も豊かで、とても癒されました！森の駅が自然やおしゃれな建物を含め大好きです！訪れたのは、2回目ですが、実家が近いのでまた絶対きます！ ・暖かく快適でした。平日も遅くまで営業してくれているので助かります。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・レストランの隙間風が寒く、店内は暖かいのに体感はとても寒かった ・券売機が現金のみ、カウンターでクレジット精算できたがわかりづらい ・券売機でキャッシュレス決済も使えると便利だなと思いましたが、お店の方が対応下さるためそんなに気になりませんでした ・炊事場は冷水のみでシャワーなどの設備もないためシャワーの設置をしてほしい ・道沿いの看板に外灯がないため、夜の営業がやっているとかがわからない ・キャンプ場内に車の乗り入れができない為、搬入するには傾斜がある道をリアカーで運ばなければいけないため搬入が困難でした ・駐車場出口の案内表示の看板の位置を考えてほしい、道路に出る時に看板が視界を遮り右側から来る車の確認がし難いです。 《対応措置》 ・冬の時期は店内の明るさがわかりづらいため、イルミネーションなどを活用し、店舗の営業をわかりやすくしました。 ・搬入の負担を軽減できるように運搬サービスの提供をした ・出口の案内看板の位置を変更し、視界の妨げにならないよう配置しました		

4 事業収支

No. 28

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
事業収支 (単位:円)	指定事業	利用料金	22,000,000	利用料金	18,874,240	歳入	使用料	0	使用料	0	
		指定管理料		指定管理料			雑(納付金)	0	雑(納付金)	0	
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料	0	行政財産目的外使用料	0	
		販売収入等	100,000,000	販売収入等	107,283,840		貸付料	0	貸付料	0	
		その他収入	220,000	その他収入	688,620		その他	0	その他	0	
							利益配分	24,000	利益配分	0	
		収入計	122,220,000	収入計	126,846,700	計	24,000	計	0		
		人件費	41,476,000	人件費	38,272,478	歳出	指定管理料	0	指定管理料	0	
		設備管理費	3,802,000	設備管理費	3,492,685		委託料	0	委託料	0	
		備品購入費	0	備品購入費			需用費	0	需用費	0	
		修繕費	1,000,000	修繕費	1,316,845		役務費	0	役務費	0	
	光熱水費	8,800,000	光熱水費	6,433,317	使用料・賃借料		0	使用料・賃借料	0		
	事業費	61,000,000	事業費	68,390,206	修繕費		0	修繕費	0		
	事務経費	1,000,000	事務経費	1,766,356	工事請負費		0	工事請負費	0		
	本社経費	3,600,000	本社経費	3,600,000	備品購入費		0	備品購入費	0		
	その他	2,000,000	その他	3,492,755	その他		0	その他	0		
			利益配分	24,000				R5年度補填	805,605		
	支出計	122,678,000	支出計	126,788,642	計	0	計	805,605			
	指定事業損益	-458,000	指定事業損益	58,058							
	(利益配分を除く 指定事業損益)	-458,000	(利益配分を除く 指定事業損益)	82,058							
	自主事業	収入	16,505,000	収入						19,424,039	
		支出	10,951,000	支出						13,235,764	
		自主事業損益	5,554,000	自主事業損益						6,188,275	
	損益	5,096,000		6,246,333		差引	24,000		-805,605		
	人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									30.2%	
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて [] で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

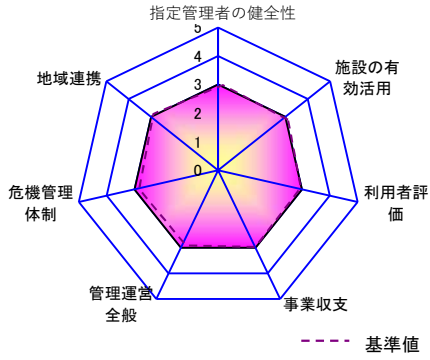
区分	確認内容	チェック欄	評価
管理運営全般	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 常勤6名(5)、非常勤20名(17) 計26名(22) ※繁忙期はその他臨時職員を増員して対応		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☑	
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☑	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☑	
施設・備品の 維持管理	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタ リング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☑	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

危機管理 体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災 対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対 応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

	地域 連携	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
	協定内容・指定管理者提案	
	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	・地元宿泊施設の施設紹介 ・地元祭事の飯縄火まつりへの協力 ・積極的な地元雇用 ・学校法人いづな学園との連携 ・市内保育施設、学校での施設利用 ・グリーンヒルズ小中学校に月に2回ほど給食を提供(希望者のみ) ・芋井地区のジャガイモを使ったレストランメニューの開発協力	・スノーアクティビティを導入しインバウンド誘致 ・近隣民泊施設(食事提供なし)へのカフェレストランメニュー紹介 ・強風被害により倒れたとうもろこしの買取・販売

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	3	12	60	
	事業収支	3	12		
	管理運営全般	3	6		
	危機管理体制	3	6		
	地域連携	3	6		
評価理由	・指定事業において初の黒字(約80,000円)を達成した点は評価できる。 ・一方で、令和7年度の自主事業については、前年度と比較して実施回数が減少しており、提案された新規イベントも少なかった。また、管理運営全般の評価は「3」とするが、施設点検結果や破損報告の遅れ、および対策案の提出遅延が散見された。 ・今後は、速やかな報告連絡体制を徹底するとともに、家族連れや他市町村からの観光客を呼び込めるような、次年度における積極的なイベントの開催と工夫を求める。				
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題		改善状況	改善案等(改善されていない場合)	
	・新たなイベント企画、創出 ・森の駅バックヤードの不足問題 ・デッキサイトの損傷 ・危険木の伐採及び剪定		・マルシェ裏(屋外)に作業スペース(オーニング屋根設置)を確保 ・樹木匠による優先順位に基づく危険木の伐採及び危険枝の剪定を行った。 ・デッキサイト損傷個所の改修方法助言 ・冬季の誘客対策(雪だるま等設置及びそり等遊具貸与)		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・新たなイベント企画、創出を行い、誘客強化に努める。 ・残存している危険木の伐採及び剪定 ・デッキサイトの修理及び損傷予防対策				

指定管理者自己評価			
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み ・キャンプ初心者に向けた入門プランを追加し、より快適に手ぶらキャンプが体験できる形を提供した。 ・犬連れのお客様も楽しんでいただけるように、建物内以外は入場制限をせず、利用マナーを守っていただき場内の散策を楽しんでいただいた。 ・新たにレストランの貸切利用プランを作成し、閑散期対策と幅広いサービスの提供に務めた。 ・レストランではグローサリートメニューとして、りんご、トウモロコシ、根曲がり竹を使ったビザや、市内で生産されたいちごやブドウを使ったメニューを開発・提供した。 また、長野市観光振興課、観光協会、地元生産者と連携して、 芋井のジャガイモを使ったIMOIモンブラン、アップルポテトパイ、ベーコンポテトパイの販売促進に努めた。 ・強風により倒れてしまい販売できなくなってしまうと困っている生産者のトウモロコシを買取・販売することで、生産者の収入を守る一助となるとともに、地域の魅力ある産品を多くの方にPRし手に取っていただくことが出来た。 ・地域最大のイベントである飯綱火まつりの際には、実行委員会と連携し、適切な会場管理をするとともに、屋外での露店販売や、新設のデッキサイトを活かしたキャンプの特別プランを提供することで、祭りの魅力向上とお客様の満足度向上に努めた。 ・定期的に水草の除去を行い、ボートを快適に利用していただけるよう努めた。 ・大座法師池のロケーションを活かしたSUP体験を実施し、飯綱高原の新たな魅力に努めた。 ・前年実施した夏の水上bar営業は、今期レストランデッキを活用し、キャンプ宿泊者やレストラン利用者に長野市内の果物を使った【果実のかき氷カクテル】と、長野県内のクラフトビール、日本酒を提供し、県内・県外からのお客様に楽しんでいただいた。 ・冬のクリスマスイベントについて、昨年に引き続き、スペシャルティナーコースの提供を実施し、加えてアラカルトメニューを充実させることで、幅広いお客様に利用をいただくことが出来た。また、今年新たにクリスマスミニコンサートを実施し、より多くの層に飯綱のクリスマスを楽しんでいただいた。 ・団体でのレストラン利用やお買い物、BBQなどのご依頼も少しずつ増え、スタッフの配置や備品の追加をしながら積極的に受け入れた。 ・冬期間は営業前には、レストランホールの新ストーブをつけ、外の雪を見ながら暖かく過ごしていただける施設として営業し、国内のお客様はもちろん、海外からのお客様にも喜んでいただき、ゆったりとお過ごしいただける環境とした。 ・企業プロモーションや映画の撮影などのロケ地として企画を積極的に受け入れた。 ・マレーシアの映画撮影の際は、SNSフォロワー700万人を超える主演女優に当施設を投稿していただき、当施設のフォロワー増加につなげることが出来た。 ・県歌 信濃の国の歌詞にある「海こそなけれ物さわに」という一節から、長野県内の魅力ある商品(しょうゆ豆や県産のトマトを使用したトマトペーストなど)を県内の各製造メーカーと交渉、協力のものと「ものさわ」シリーズとしてリブランド、当社で作成したロゴやラベルで統一ブランドとして、販売を開始した。お客様に、これまで知らなかった長野の名産品を伝えていくとともに、ここに来れば長野県の美味しいものが購入できると感じていただけるようなお店作りに努めた。 ・当社で運営をする道の駅中条と農産品の移動・流通を積極的に実施し、出荷時期の異なる産品の販売や、地域では生産されていない産品を販売することで、販売品目の増加と顧客満足向上に努めた。 ・戸隠スキー場 シーズン券を提示のお客様に割引サービスを提供し、地域が盛り上がるよう協力体制を築いた。 ・芝生広場に大型の雪だるまを設営したり、新たに導入したスノーチューブで冬の魅力向上に努めた。 ・英字入りの看板や英字メニュー表も掲示し、海外の利用客も増え、レストラン利用などにもつなげることが出来た。 ② 業務の効率化に対する取組み ・キャンプ受付の流れを事前にHPやSNSで案内することで、受付時の順番が明確になり、チェックインの時間短縮にもつなげることができた。 ・キャンプ受付の際に、カウンターまでの動線に誘導看板を置く事でカウンターでの混雑を緩和と対応スタッフの削減が出来た。 ・繁忙期には屋内アクティビティの受付をキャンプ受付と別にする事で、お客様の待ち時間を解消することが出来た。 ・オペレーションルールの統一を行うことで、管理職のスタッフだけでなく、各部署の社員・パートアルバイトのスタッフも場面に合わせて対応の変化をできるようルール設計を行った。 ・スタッフそれぞれに役割を与え責任感を持つとともに、マルチタスクをこなせるトレーニングを実施し、必要な場所に必要な人員を配置し、業務の分散と効率の良い回転を心がけた。 また、閑散期はオペレーションの見直しや備品の細かな確認など繁忙期には行えない業務を徹底して行った。 ・マルシェ繁忙期は精算待ちと買い物のお客様の混雑を緩和するため精算待ちの誘導レーンの設置をした。 ③ その他 ・フォレストアドベンチャーのコースを改修し、停滞してしまう箇所の改善し、1日の最大利用上限の増加とスムーズな利用に繋がった。 ・フォレストアドベンチャーの受付がわかりづらいという声があり、案内看板を増設した。 ・長野市内クラフトビールメーカー4社と長野市農業政策課、桃の生産者との企画で、桃のクラフトビールセットの販売をし、川中島白桃の産地であるPR、長野市のクラフトビールのPRをした。			
(2) 指定管理者業務実施上の課題 ・駐車場の台数に限りがあり、繁忙期には指定管理者で借用した臨時駐車場も含め満車となり、離脱してしまうお客様がいた。 ・近年の猛暑の影響で、夏の屋内アクティビティが自然換気だけではお客様から暑いという意見を多くいただいていた。 ・施設が木造のため、経年劣化による不具合も増えてきており、こまめな点検が必要。 ・蜂の発生が多く、巣を作らせない対策が必要。 ・ボート乗り場の桟橋が老朽化し、修繕対策が必要。 ・倒木リスクのある木が増え、一方、木がなくなると木陰もなくなるため、長期的目線で敷地内の整備が必要。 ・公共交通の減少により、車を持っていない方の来場ハードルが高くなっている。			
(3) 総合評価 評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る		指定管理者 自己総合評価	B
① 評価理由 施設内はもちろん、施設外においても農産物を積極的に県外で販売するなど、積極的に販売とPRを実施することで指定管理事業 単体での黒字営業が出来た。 県外販売を増やすことで、取扱量を増やすことが出来、生産者との連携強化、新規生産者との契約に繋げることが出来た。 初心者でも手ぶらで楽しめるキャンププランをより充実させ、初心者でも楽しめるキャンプ場として利用していただいた。 ウィンターシーズンの閑散期でもこたつキャンプやクリスマスイルミネーションなど、様々な企画を行い、通年を通して地域としても施設としても発信をすることができた。 スノーチューブを導入し、国内・海外のお客様に飯綱高原の冬の魅力を体感していただいた。 グリーンヒルズ小中学校との連携など地元地域にも貢献して、地域の皆様にも知っていただき興味を持っていただける活動を引き続き行っていく事と、今後もより積極的にお客様が飯綱高原に足を運んでいただけるような取り組みを強化していきたい。 従業員も地元を中心とした長野市民で、地元の雇用促進にも貢献しつつ、県外からの移住者の就労先としても積極的に受け入れ、地域に定住している方もいる。 ② 次年度以降の取組み ①デッキサイトを活かしたプランの作成・販売をさらに更新し、初心者の受け入れをより強化するため、レクチャープラン・手ぶらキャンプの取り組み実施。 ②2024年度に開発したIMOIモンブラン、ポテトアップルパイの食材として、地元の名産品である芋井産のりんごの買取と、ジャガイモ(男爵)の生産依頼、買取を実施し、地域の新たな魅力創出に寄与する。 ③生産者と連携を強化し、農産物の品揃えの安定に努める。 特に、春の山菜、夏のレタスやトウモロコシ、秋の野生きのこ、冬のりんごは購買目的で立ち寄りいただけるお客様も増えているため、生産者と積極的にコミュニケーションの上、取扱量を増やす。 ④より魅力あるイベントや地元食材を利用した人気商品の製造・販売 ⑤フォレストアドベンチャー・長野と連携し、よりエリアとしての魅力が出せるプランを検討しお客様の満足度向上を目指す。また、小天狗の森の有効活用を検討する。 ⑥屋内アクティビティの利用客数増加に繋がるよう、備品の追加やそれに伴う工法を実施する。 ⑦自社内で実施できる修繕を積極的に実施する。 ⑧お客様の利便性向上と満足度向上のため券売機にクレジットカードを導入する。 ⑨外看板への照明設置(ソーラー式)を検討する。			